

令和5年10月13日

保護者各位

鳥栖市立基里小学校  
校長 原 徹也

## 令和5年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要について（お知らせ）

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果が文部科学省から公表されましたので、その調査結果をもとに本校の結果について分析をしました。結果の概要についてお知らせします。

なお、以下に示す内容は学力の特定の一部であること、また、学校における教育活動の一側面であることを御理解くださいますようお願いいたします。

### 1 令和5年度全国学力・学習状況調査について

令和5年4月18日、下記のような内容で全国一斉に小学校6年生を対象として実施されました。調査内容は、次のとおりです。

(1) 教科に関する調査（国語、算数）
① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等
調査問題では、①と②が一体的に問われています。
(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
※学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関して調査されています。

### 2 教科に関する調査結果から全国平均正答率と比較して見える本校児童の姿

#### (1) 国語について

- ・本校の国語の全体の平均正答率は全国の平均正答率と比較して、上回っていました。
- ・内容「知識及び技能」における「言葉の特徴や使い方に関する事項」については、全国の平均正答率を上回っていました。内容「思考力、判断力、表現力等」の「書くこと」「読むこと」については、全国の平均正答率を大きく上回っていました。しかし、内容「思考力、判断力、表現力等」の「話すこと・聞くこと」については、全国の平均正答率を下回っていました。
- ・「言語の特徴や使い方に関する事項」の出題の趣旨「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う」問題においては、問題により全国の平均正答率を大きく上回っているものと下回っているものがありましたので、必ずしも全国の平均正答率を上回っているとは言えません。
- ・「書くこと」の出題の趣旨「図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる」問題において、また、「読むこと」の出題の趣旨「目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができるかどうかをみる」問題においてともに全国の平均正答率を大きく上回っていました。
- ・「話すこと」の出題の趣旨「必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えることができるかどうかをみる」については、全国の平均正答率を下回っていました。

## (2) 算数について

- ・本校の算数の全体の平均正答率は全国の平均正答率と比較して、上回っていました。
- ・すべての領域で全国の平均正答率を上回り、特に「図形」の領域については、大きく上回っていました。
- ・「数と計算」領域で、出題の趣旨「加法と乗法の混合した整数の計算をしたり、分配法則を用いたりして答えを求める」問題については、全国の平均正答率を大きく上回っていました。出題の趣旨「示された日常生活の場面を解釈し、小数の加法や乗法を用いて、求め方と答えを式や言葉を用いて記述し、その結果から条件に当てはまるかどうかを判断する」「(2位数) ÷ (1位数) の筆算について、図を基に、各段階の商の意味を考える」問題については、全国の平均正答率を下回っていました。
- ・「変化と関係」領域で、出題の趣旨「伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求める」「伴って変わる二つの数量の関係が、比例の関係ではないことを説明するために、表の中の適切な数の組を用いることができる」「伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、知りたい数量の大きさの求め方と答えを式や言葉を用いて記述する」「百分率で表された割合について理解しているか」問題については全国の平均正答率を上回っていました。
- ・「図形」の領域で、出題の趣旨「高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうか」問題については全国の平均正答率を下回っていました。
- ・問題全体としては、記述式の問題の正答率が低くなっていました。

## 3 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査結果から見える本校児童の姿

- ・基本的な生活習慣「毎日、同じくらいの時刻に寝ているか」の項目については本校の回答では「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」の児童の割合が、全国の割合より 8.3 ポイント上回っていました。「毎日、同じくらいの時刻に起きているか」の項目については本校の回答では全国の割合より 4.1 ポイント上回っていました。「朝食」の項目では、1.1 ポイント下回っていました。
- ・家庭学習については、全国と比べて「計画的に学習している児童」の割合は 7.9 ポイント上回っていました。「一日当たりの勉強をする児童（1時間以上）」の割合は、平日は 0.1 ポイント、休日は 2.7 ポイント上回っていました。
- ・「家庭に本がある児童（10冊以上）」の割合は 2.3 ポイント上回っていました。「一日当たりの読書をする児童（平日30分以上）」の割合は 16.3 ポイント上回っていました。
- ・「学習の中で、PC・タブレットなどの ICT 機器を使うのは勉強の役に立つと思う」の割合は、全国と比べて 1.3 ポイント上回っていました。
- ・「5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分で取り組んでいた」の割合は、全国と比べて 6.9 ポイント上回っていました。
- ・「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができているか」の割合は、全国と比べて 10.1 ポイント上回っていました。
- ・下記の規範意識や自己有用感を示す事項については、全国平均を上回っていました。
  - 「自分には、よいところがある」
  - 「将来の夢や目標を持っている」
  - 「人が困っているときは、進んで助けている」
  - 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだ」

「人の役に立つ人間になりたい」

「地域や社会をよくするために何かしてみたい」

#### 4 今後の改善策（児童の力をさらに伸ばすために）

- ・児童の実態に応じて、基礎的・基本的な学習内容の定着を図っていきます。
  - ・自分の考えや意見、分かったことを自分の言葉で表現する活動を、授業を中心に各教科に取り入れていきます。
  - ・児童同士の関わりを大切にして、互いを認め合う場の設定を意識して指導していきます。
  - ・授業の中で、児童に考えさせる場面や話し合わせる場面を多く取り入れるように工夫します。
  - ・授業では、めあてとまとめを明確にし、児童の振り返りを重視します。
  - ・学習したことを日常生活の具体的な場面に結びつけて考えさせる場を設け、学習内容の定着を目指します。
  - ・電子黒板やデジタル教科書のさらなる有効活用に加え、タブレット等 I C T機器の活用を継続し、より分かりやすい授業を目指します。
  - ・児童が、学ぶことの楽しさを実感できる授業を行い、主体的に学習に取り組む態度の育成を目指します。
  - ・ボランティアの方による「読み聞かせ」や読書指導により、読解力向上や豊かな心の育成に努めます。
  - ・「家庭学習重点週間」を今後も継続することで、自分のがんばりを振り返らせ、がんばろうとする意欲の継続を図るとともに、学習規律や生活習慣の定着を図ります。
- ・家庭でも次のようなことに心がけてください。

##### 1 家庭での学習時間をつくってください。

【学習時間：1・2年生 30分以上 3・4年生 50分以上 5・6年生 70分以上】

- ◎学習する時間や場所を決めて取りまわせることで学習習慣を身に付けさせましょう。
- ◎携帯電話やスマートフォンでのSNSや動画、テレビを見る時間やゲームをする時間を決めて、長時間にならないようにしましょう。
- ◎苦手教科やテストの書き直し等、復習を中心とした自主学習に取り組ませましょう。

##### 2 生活のリズムを整え、お子さんとのコミュニケーションの時間を大切にしてください。

- ◎早めに起床し、必ず「朝食」を摂るように声掛けをしましょう。
- ◎学校での出来事等について、話したり聞いたりするようにしましょう。
- ◎最近読んでいる本の内容、新聞やテレビの話題について話し合いましょう。
- ◎お子さんががんばったことやよくできたことを、積極的にほめましょう。
- ◎親子で読書をする時間を持ちましょう。

【本校の目標冊数：1・2年生：170冊 3・4年生：150冊 5・6年：130冊】